

第 105 期 報 告 書

《平成22年 4 月 1 日～平成23年 3 月31日》



株主の皆様へ

株主の皆様には格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

当社グループの第105期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の営業の概況をご報告申しあげます。

当連結会計年度における経済情勢は、中国をはじめとしたアジア各国での経済成長に伴う新興国への輸出等を背景とした国内生産の増加により景気は緩やかな持ち直しが見られました。一方、景気刺激策の打ち切りや急激な円高、原油価格高騰などに加え3月に発生した東日本大震災による各地での深刻な被害により、景気回復への動きが弱まりました。

このような事業環境のもと、当社グループは、顧客の多様なニーズに合わせ環境に配慮した製品や特別な機能を有する魅力ある新製品の開発に取り組むとともに、受注活動に努めてまいりました。また、全社をあげての原価低減活動など収益改善に取り組んでまいりました。

以上の結果、連結売上高につきましては、震災による影響はあったものの、自動車の需要回復による関連製品の受注増加などにより316億5百万円（前期比9.0%増）となりました。

損益につきましては、売上増加と固定費などの削減効果により営業利益は8億9百万円（前期比994.7%増）となりました。経常利益は持分法投資利益などの増加により16億4千3百万円（前期比125.4%増）、当期純利益は、関係会社株式売却による投資有価証券売却益、災害による損失などにより12億1千1百万円（前期比186.1%増）となりました。

このような業績を勘案しまして、当期の株主配当金につきましては1株につき10円（中間配当金4円、期末配当金6円）とさせていただきます。

設備投資につきましては、主に自動車製品関連事業での新規受注及び生産の効率化のために必須のものに絞って実施した結果、当連結会計年度における設備投資の総額（建設仮勘定を除く本勘定振替ベース）は11億2千7百万円となり、前期比1億2千7百万円増加いたしました。

投資内訳としましては、生産設備関連に10億6千7百万円、生産設備以外に6千万円の資金を投入いたしました。

生産設備の主な内容は、自動車用カーペット生産への設備投資をはじめとした吸・遮音材生産設備の増強に3億1千8百万円、金型の製作投資5億3百万円、塗料製造設備の更新3千8百万円ならびに工場隣接土地の取得9千5百万円となっております。

生産設備以外の主な内容は、研究開発部門における新製品開発のための試験機器の取得等であります。

なお、必要資金は一部銀行借入で調達しました他は、内部留保をもって充当しております。

当社グループは、中長期的な持続ある成長基盤の確立に向け、強固な企業体質への改革を進めております。この改革を成し遂げるため、以下の課題に取り組んでいきます。

（1）国内事業の収益性強化

① コスト低減による競争力強化

原材料の統廃合による価格低減および配合原低の推進によるコスト低減を進め、競争力を強化してまいります。

② 高付加価値製品の展開によるシェア拡大

当社の強みであり、他社に対して差別化できる両事業における高付加価値製品の販売増強を推進し、業界シェアを拡大してまいります。

- ③ 技術開発力の強化
開発本部の下、研究開発の強化による高機能・高付加価値製品の開発とともに両事業部門の研究開発のシナジー効果を高め、収益性重視の研究開発体制を構築してまいります。
- ④ 新規事業の推進
自動車の防音技術を生かし、住宅用各種防音製品を開発し、販売体制を新たに構築することで、防音に関する個人へのトータルソリューションビジネスを確実に立ち上げます。
- ⑤ 生産効率化と品質向上の推進
工場の生産体制を見直し、効率化を一層推進するとともに、基本動作の徹底、なぜなぜ運動による真の原因追求・恒久対策実施により、品質向上を確立してまいります。
- (2) グローバル化の推進
中国・インドを主体とした新興国市場への的確なる対応とともに、北米・欧州・アジアを含め世界戦略を展開してまいります。
- (3) 人財(材)育成
若手の登用、人事交流、シニアの専門性活用等により、人財の多様化・活性化を推進するとともに、改善を進めながら進化する人財を育成してまいります。
また、働き甲斐がある活力に満ちた企業風土づくりを目指し、当社の良きDNAを次世代に継承してまいります。
- (4) 企業の社会的責任(CSR)の推進
 - ① リスク管理の徹底
コーポレートガバナンスを徹底するとともに、グループ全体での内部統制体制の強化、国際会計基準(IFRS)導入への対応、多面的なリスクマネジメントを推進してまいります。
 - ② 誠実な顧客対応
多彩なニーズに即応し、顧客の信頼に応えてまいります。
 - ③ 環境問題への積極的な取り組み
環境との調和ある成長を経営の最重点課題のひとつと位置付け、環境に配慮しつつ機能性を追求し、環境保全、そして快適な社会づくりに貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成23年6月



代表取締役社長
野 島 雅 寛

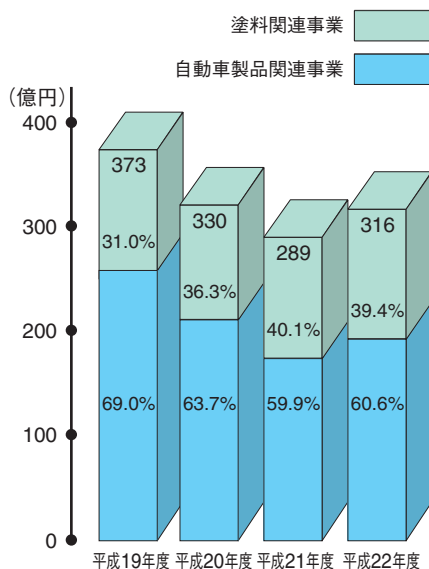
企業集団の業績の概況

■財産および損益の状況の推移

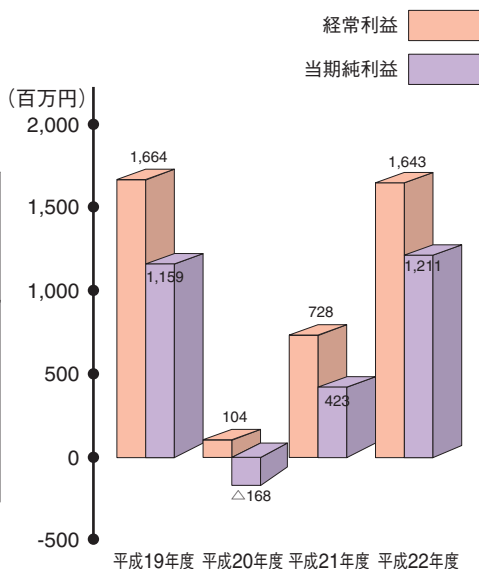
区 分	単 位	平成19年度 第102期	平成20年度 第103期	平成21年度 第104期	平成22年度 (当連結会計年度) 第105期
売 上 高	百万円	37,372	33,028	28,992	31,605
経 常 利 益	百万円	1,664	104	728	1,643
当 期 純 利 益	百万円	1,159	△168	423	1,211
1株当たり当期純利益	—	49円82銭	△7円23銭	19円06銭	54円78銭
総 資 産	百万円	40,391	34,300	35,705	36,345
純 資 産	百万円	18,723	16,171	17,145	18,064

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は、自己株式控除後の期中平均株式数に基づき算出しております。
 2. 第103期から「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。
 3. 第103期から「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 平成19年3月30日)および「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号 平成19年3月30日)を適用しております。
 4. 第104期から「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)および「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を適用しております。
 5. 第104期から「退職給付に係る会計基準」の一部改正(その3) (企業会計基準第19号 平成20年7月31日)を適用しております。

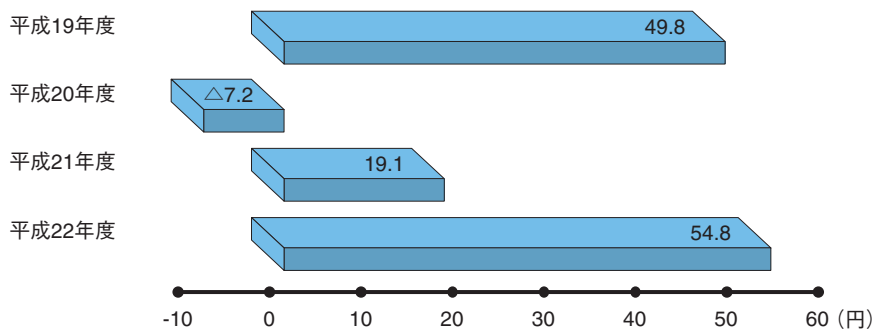
①売上高(部門別)



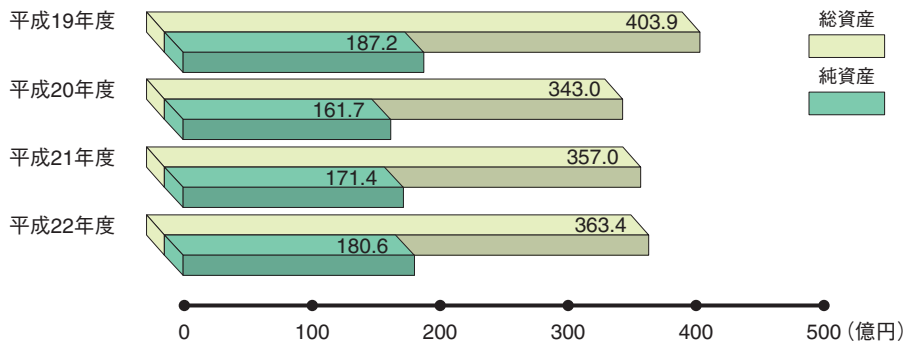
②経常利益・当期純利益



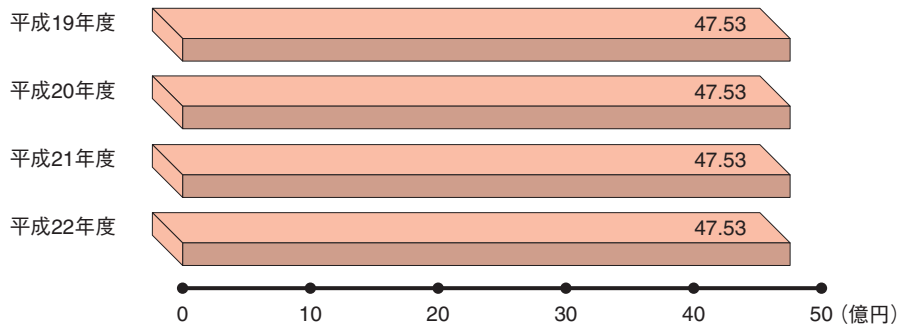
③ 1株当たり当期純利益



④ 総資産・純資産



⑤ 資本金



連結貸借対照表 (平成23年3月31日現在)

(金額単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	15,735,397	流 動 負 債	10,811,738
現金及び預金	4,117,142	支払手形及び買掛金	6,894,846
受取手形及び売掛金	8,466,126	短 期 借 入 金	1,235,433
有 価 証 券	146,020	未 払 法 人 税 等	129,836
商 品 及 び 製 品	1,067,806	工事損失引当金	2,424
仕 掛 品	256,331	役員賞与引当金	19,690
原材料及び貯蔵品	901,374	そ の 他	2,529,506
繰延税金資産	380,986	固 定 負 債	7,469,700
そ の 他	418,275	長 期 借 入 金	4,685,174
貸倒引当金	△ 18,666	退職給付引当金	2,741,852
固 定 資 産	20,610,046	そ の 他	42,673
有 形 固 定 資 産	10,802,750	負 債 合 計	18,281,438
建物及び構築物	3,400,314	純 資 産 の 部	
機械装置及び運搬具	2,982,829	株 主 資 本	17,034,533
土 地	3,181,945	資 本 金	4,753,085
そ の 他	1,237,661	資 本 剰 余 金	4,362,368
無 形 固 定 資 産	91,167	利 益 剰 余 金	8,414,325
そ の 他	91,167	自 己 株 式	△ 495,245
投資その他の資産	9,716,127	その他の包括利益累計額	505,675
投資有価証券	8,107,542	その他有価証券評価差額金	1,378,686
長 期 貸 付 金	124,875	為替換算調整勘定	△ 873,010
繰延税金資産	294,798	新 株 予 約 権	61,519
そ の 他	1,196,165	少 数 株 主 持 分	462,276
貸倒引当金	△ 7,253	純 資 産 合 計	18,064,004
資 産 合 計	36,345,443	負債及び純資産合計	36,345,443

連結損益計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(金額単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		31,605,954
売 上 原 価		25,181,191
売 上 総 利 益		6,424,762
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		5,615,300
営 業 利 益		809,461
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	88,369	
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	939,731	
そ の 他	64,992	1,093,094
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	127,967	
為 替 差 損	101,062	
そ の 他	30,195	259,225
経 常 利 益		1,643,330
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	397	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	526,298	
受 取 補 償 金	4,500	531,195
特 別 損 失		
固 定 資 産 処 分 損	221,861	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	9,136	
災 害 に よ る 損 失	244,341	
会 員 権 売 却 損	3,600	478,939
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益		1,695,586
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		189,906
法 人 税 等 調 整 額		255,181
少 数 株 主 損 益 調 整 前 当 期 純 利 益		1,250,498
少 数 株 主 利 益		39,112
当 期 純 利 益		1,211,385

連結株主資本等変動計算書（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

（金額単位：千円）

残高及び変動事由	株 主 資 本				
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	株 主 資 本 計
前 期 末 残 高	4,753,085	4,362,370	7,424,884	△ 494,875	16,045,464
当 期 変 動 額					
剰 余 金 の 配 当			△ 221,944		△ 221,944
当 期 純 利 益			1,211,385		1,211,385
自 己 株 式 の 取 得				△ 427	△ 427
自 己 株 式 の 処 分		△ 1		57	55
在外連結子会社等の株式の売却による増減					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当 期 変 動 額 合 計	—	△ 1	989,440	△ 369	989,069
当 期 末 残 高	4,753,085	4,362,368	8,414,325	△ 495,245	17,034,533

残高及び変動事由	その他の包括利益累計額			新株予約権	少数株主 持 分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計			
前 期 末 残 高	1,213,790	△ 606,578	607,211	61,519	431,463	17,145,659
当 期 変 動 額						
剰 余 金 の 配 当			—			△ 221,944
当 期 純 利 益			—			1,211,385
自 己 株 式 の 取 得			—			△ 427
自 己 株 式 の 処 分			—			55
在外連結子会社等の株式の売却による増減		44,713	44,713			44,713
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	164,895	△ 311,145	△ 146,250		30,812	△ 115,437
当 期 変 動 額 合 計	164,895	△ 266,432	△ 101,536	—	30,812	918,345
当 期 末 残 高	1,378,686	△ 873,010	505,675	61,519	462,276	18,064,004

連結貸借対照表、連結損益計算書および 連結株主資本等変動計算書についての注記

1. 連結貸借対照表に関する注記

- (1) 担保に供している資産
- | | |
|-----------|-------------|
| 建物及び構築物 | 516,202千円 |
| 機械装置及び運搬具 | 198,048千円 |
| 土地 | 385,993千円 |
| 投資有価証券 | 2,265,193千円 |
| 計 | 3,365,437千円 |
- 上記見合いの対応債務
- | | |
|-------|-------------|
| 短期借入金 | 510,288千円 |
| 長期借入金 | 1,693,212千円 |
| 社内預金 | 342,135千円 |
| 計 | 2,545,635千円 |
- (2) 有形固定資産の減価償却累計額 27,020,346千円
- (3) 債務保証
関連会社の金融機関借入に伴う債務保証 462,885千円

2. 連結株主資本等変動計算書に関する注記

- (1) 当連結会計年度末の発行済株式の種類および総数
普通株式 23,611,200株
- (2) 剰余金の配当に関する事項
当連結会計年度中に行った剰余金の配当に関する事項

決議	株式の種類	配当金の総額（千円）	1株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日
平成22年6月24日 定時株主総会	普通株式	133,167	6	平成22年 3月31日	平成22年 6月25日
平成22年11月9日 取締役会	普通株式	88,777	4	平成22年 9月30日	平成22年 11月26日
計		221,944			

基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

平成23年6月24日開催の定時株主総会決議内容

配当金の総額 133,165千円

1株当たり配当額 6円

基準日 平成23年3月31日

効力発生日 平成23年6月27日

- (3) 当連結会計年度の末日における当社が発行している新株予約権の目的となる株式の数
第4回新株予約権（平成18年6月23日株主総会） 普通株式 489,000株

(注) 連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書および注記の記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表 (平成23年 3月31日現在)

(金額単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	13,988,263	流 動 負 債	9,814,239
現金及び預金	3,188,492	支払手形	560,297
受取手形	2,242,430	設備支払手形	31,209
売掛金	5,639,368	買掛金	5,973,300
有価証券	146,020	短期借入金	896,288
商品及び製品	977,743	未払金	851,677
仕掛品	255,623	未払費用	760,332
原材料及び貯蔵品	783,128	未払法人税等	57,137
前払費用	11,273	預り金	264,742
繰延税金資産	331,717	従業員預金	342,135
その他の	429,064	役員賞与引当金	19,690
貸倒引当金	△ 16,600	その他	57,429
固 定 資 産	17,681,461	固 定 負 債	6,900,508
有形固定資産	9,318,350	長期借入金	4,210,708
建物	2,561,165	退職給付引当金	2,648,223
構築物	260,600	長期未払金	41,576
機械装置	2,424,950	負 債 合 計	16,714,747
車両運搬具	21,208	純 資 産 の 部	
工具器具備品	970,379	株 主 資 本	13,529,268
土地	2,828,828	資本金	4,753,085
建設仮勘定	251,217	資本剰余金	4,358,153
無 形 固 定 資 産	86,152	資本準備金	4,258,867
ソフトウェア	40,459	その他資本剰余金	99,285
その他	45,692	利 益 剰 余 金	4,895,310
投資その他の資産	8,276,958	その他利益剰余金	4,895,310
投資有価証券	5,075,670	固定資産圧縮積立金	4,070
関係会社株式	1,757,045	別途積立金	3,125,243
関係会社出資金	981,521	繰越利益剰余金	1,765,996
長期貸付金	226,635	自 己 株 式	△ 477,280
破産債権等	3,122	評価・換算差額等	1,364,189
長期前払費用	2,884	その他有価証券評価差額金	1,364,189
繰延税金資産	198,294	新 株 予 約 権	61,519
その他の	138,038	純 資 産 合 計	14,954,977
貸倒引当金	△ 7,253	負 債 及 び 純 資 産 合 計	
投資損失引当金	△ 99,000		31,669,725
資 産 合 計	31,669,725		

損益計算書（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

（金額単位：千円）

科 目	金 額
売 上 高	28,848,342
売 上 原 価	23,456,986
売 上 総 利 益	5,391,356
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	5,040,184
営 業 利 益	351,172
営 業 外 収 益	
受 取 利 息 及 び 配 当 金	848,877
そ の 他	111,009
営 業 外 費 用	
支 払 利 息	109,551
為 替 差 損	101,062
そ の 他	29,807
経 常 利 益	1,070,637
特 別 利 益	
固 定 資 産 売 却 益	208
投 資 有 価 証 券 売 却 益	723,142
投 資 損 失 引 当 金 戻 入 益	63,040
受 取 補 償 金	4,500
特 別 損 失	
固 定 資 産 処 分 損	221,454
投 資 有 価 証 券 評 価 損	6,900
災 害 に よ る 損 失	99,720
会 員 権 売 却 損	3,600
税 引 前 当 期 純 利 益	1,529,852
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	113,500
法 人 税 等 調 整 額	261,491
当 期 純 利 益	1,154,861

株主資本等変動計算書（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

（金額単位：千円）

残高及び変動事由	株 主 資 本					
	資 本 金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金		
		資本準備金	そ の 他 資本剰余金	そ の 他 利 益 剰 余 金		
				固 定 資 産 圧縮積立金	別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金
前 期 末 残 高	4,753,085	4,258,867	99,287	5,001	3,125,243	832,148
当 期 変 動 額						
固定資産圧縮積立金の取崩				△ 931		931
剰 余 金 の 配 当						△221,944
当 期 純 利 益						1,154,861
自 己 株 式 の 取 得						
自 己 株 式 の 処 分			△ 1			
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						
当 期 変 動 額 合 計	—	—	△ 1	△ 931	—	933,848
当 期 末 残 高	4,753,085	4,258,867	99,285	4,070	3,125,243	1,765,996

残高及び変動事由	株 主 資 本			評価・換算差額等 新株予約権	純資産合計
	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	その他有価証券 評 価 差 額 金		
前 期 末 残 高	△ 477,172	12,596,461	1,201,482	61,519	13,859,464
当 期 変 動 額					
固定資産圧縮積立金の取崩		—			—
剰 余 金 の 配 当		△ 221,944			△ 221,944
当 期 純 利 益		1,154,861			1,154,861
自 己 株 式 の 取 得	△ 165	△ 165			△ 165
自 己 株 式 の 処 分	57	55			55
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）		—	162,706		162,706
当 期 変 動 額 合 計	△ 108	932,806	162,706	—	1,095,513
当 期 末 残 高	△ 477,280	13,529,268	1,364,189	61,519	14,954,977

貸借対照表、損益計算書および株主資本等変動計算書についての注記

1. 貸借対照表に関する注記

(1) 担保に供している資産	
建物	497,058千円
構築物	19,144千円
機械装置	198,048千円
土地	385,993千円
投資有価証券	2,265,193千円
計	3,365,437千円
上記見合いの対応債務	
短期借入金	510,288千円
長期借入金	1,693,212千円
社内預金	342,135千円
計	2,545,635千円
(2) 有形固定資産の減価償却累計額	23,173,867千円
(3) 債務保証および債務保証予約	
債務保証	
子会社および関連会社の金融機関借入に伴う債務保証	497,115千円
債務保証予約	
子会社の金融機関借入に伴う債務保証予約	415,000千円
(4) 関係会社に対する金銭債権および金銭債務	
短期金銭債権	1,247,732千円
長期金銭債権	226,485千円
短期金銭債務	650,010千円
(5) 受取手形裏書高	147,023千円

2. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引	
関係会社に対する売上高	2,497,758千円
関係会社からの仕入高	4,514,579千円
関係会社との営業取引以外の取引高	
受取配当金	757,993千円
不動産賃貸料	59,575千円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における自己株式の種類および株式数	
普通株式	1,416,932株

(注) 貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書および注記の記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

庶務の概況

1. 定時株主総会事項

平成22年 6 月24日

当社第104期定時株主総会を開催し、次のとおり報告ならびに議案につき原案のとおり決議されました。

- 報告事項
1. 第104期（平成21年 4 月 1 日から平成22年 3 月31日まで）事業報告、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第104期（平成21年 4 月 1 日から平成22年 3 月31日まで）計算書類の内容報告の件

決議事項 議 案 剰余金の処分の件

2. 登記事項（登記日）

（平成22年 7 月 1 日）

会計監査人就任の登記

（平成22年 8 月11日）

第 3 回新株予約権行使期間満了の登記

子会社の状況

重要な子会社の状況

会 社 名	資 本 金	当 社 の 出 資 比 率	主要な事業内容
ニ ッ ト ク 商 工 株 式 会 社	80百万円	100.00%	家庭用塗料の販売
ニ ッ ト ク メ ン テ 株 式 会 社	100百万円	100.00%	建物改修工事の請負
日 晃 工 業 株 式 会 社	200百万円	65.00%	自動車用防音材の製造
株 式 会 社 タ カ ヒ ロ	200百万円	50.00%	自動車用防音材の製造

当社の連結子会社は（上記重要な子会社を含め）8社であり、持分法適用会社は8社であります。

株式の状況（平成23年 3 月31日現在）

■株式

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	22,194,268株（自己株式1,416,932株を除く。）
株主数	3,467名（前期末比57名増）
新株予約権の状況	

回次	払込金額	行使価額	行使期間	個数	保有者数
第4-1回	払込を 要しない	820千円	平成20年 8 月 1 日 ～平成23年 7 月31日	114個 (60個)	12名 (7名)
第4-2回	払込を 要しない	820千円	平成20年 8 月 1 日 ～平成23年 7 月31日	375個 (-)	105名 (-)

（注）取締役、その他の役員の保有する新株予約権は（ ）内に内数で記載しております。

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
ユニケラー ホールディング エージェンシー	20,600 百株	9.28 %
関西ポイント株式会社	18,677	8.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	12,128	5.46
株式会社 三菱東京UFJ銀行	11,088	5.00
明治安田生命保険相互会社	7,560	3.41
トヨタ自動車株式会社	7,054	3.18
株式会社 中外	6,130	2.76
第一生命保険株式会社	5,005	2.26
ニッポク親和会	4,846	2.18
株式会社 三井住友銀行	4,001	1.80

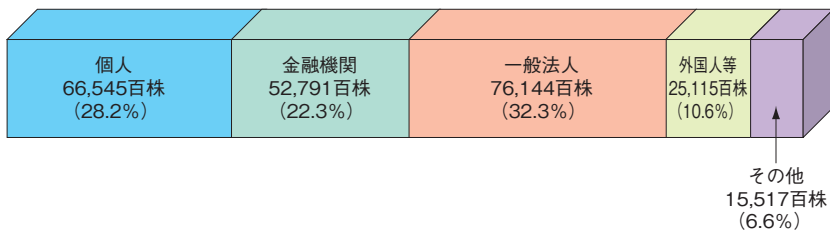
- （注）1. 当社は自己株式1,416,932株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 平成23年 2 月15日付で提出されたリエタ ホールディング エージェンシーの大量保有報告書（変更報告書）およびユニケラー ホールディング エージェンシーの大量保有報告書により当社の筆頭株主の異動を確認しました。
- 今回の筆頭株主の異動は、リエタ ホールディング エージェンシーが営む事業のうち、自動車関連事業を、新たに設立した同社100%子会社のユニケラー ホールディング エージェンシーへ事業経営の移管に伴って発生したものであります。したがって、同社との取引ならびに株主関係は従前と実質同じであり、今回の異動による業績への影響はありません。
- また、ユニケラー ホールディング エージェンシーは平成23年 4 月 4 日にオートニウム ホールディング エージェンシーに名称変更しております。

自己株式の種類および株式数

普通株式

1,416,932株

所有者別状況



取締役および監査役 (平成23年 3月31日現在)

代表取締役社長 野 島 雅 寛

常 務 取 締 役 酒 井 万 喜 夫 自動車製品事業本部長

常 務 取 締 役 田 谷 純 業務本部長 (兼) 総務部長 (兼)
法令遵守室長

取 締 役 豊 島 武 博 塗料事業本部長

常 勤 監 査 役 小 塚 務

監 査 役 山 上 大 介 公認会計士

監 査 役 奈 良 道 博 弁護士

会社の概況 (平成23年 3月31日現在)

商 号 日本特殊塗料株式会社
 英 文 社 名 Nihon Tokushu Toryo Co., Ltd.
 創 業 年 月 日 昭和 4 年 6 月 1 日
 資 本 金 4,753,085,000円
 発行済株式総数 23,611,200株
 従 業 員 数 505名

事業所案内

●本 社	〒114-8584 東京都北区王子5-16-7	☎(03)3913-6131
●開 発 本 部	〒114-0003 東京都北区豊島8-16-15	☎(03)5390-0661
●塗 料 事 業 本 部	〒114-8584 東京都北区王子5-16-7	☎(03)3913-6153
東 京 営 業 所	〒114-8584 東京都北区王子5-16-7	☎(03)3913-6203
平 塚 営 業 所	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2135
名 古 屋 営 業 所	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12	☎(0566)81-8111
大 阪 営 業 所	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-28-10	☎(06)6386-8492
広 島 営 業 所	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-8231
福 岡 営 業 所	〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎(0942)89-5766
D I Y 販 売 部	〒123-0865 東京都足立区新田2-11-4	☎(03)3919-6001
平 塚 工 場	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2135
静 岡 工 場	〒437-1612 静岡県御前崎市池新田4455	☎(0537)86-2491
愛 知 工 場	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12	☎(0566)81-2771
広 島 工 場	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-3171
九 州 工 場	〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎(0942)89-5661
●自動車製品事業本部	〒114-0003 東京都北区豊島8-16-15	☎(03)5390-0662
営 業 統 括 部	〒114-0003 東京都北区豊島8-16-15	☎(03)5390-0663
東日本第1営業所	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2132
東日本第2営業所	〒374-0065 群馬県館林市西本町4-36/マツ河本1F	☎(0276)75-1571
中 日 本 営 業 所	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12	☎(0566)81-8112
西 日 本 営 業 所	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-3171
東 九 州 出 張 所	〒824-0022 福岡県行橋市稲童高畑484-3	☎(0930)25-5091
平 塚 工 場	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2131
静 岡 工 場	〒437-1612 静岡県御前崎市池新田4455	☎(0537)86-2491
愛 知 工 場	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12	☎(0566)81-2771
広 島 工 場	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-3171
東 九 州 工 場	〒824-0022 福岡県行橋市稲童高畑484-3	☎(0930)25-5091
●連 結 子 会 社		
ニットク商工株式会社	〒114-0003 東京都北区豊島8-16-14	☎(03)3913-5362
ニットクメンテ株式会社	〒114-0003 東京都北区豊島8-16-14	☎(03)5390-1751
株式会社ニットク保険センター	〒114-0003 東京都北区豊島8-16-14	☎(03)3912-1761
日晃工業株式会社	〒120-0025 東京都足立区千住東2-3-9	☎(03)3888-4133
株式会社タカヒロ	〒739-0269 広島県東広島市志和町志和掘1153-10	☎(0824)33-4208
株式会社ニットクシーナ	〒824-0022 福岡県行橋市稲童高畑484-3	☎(0930)25-7507
株式会社エヌシー	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12	☎(0566)81-5945

当社の主な製品

■航空機用塗料

スカイハロー	各種ラッカー、アルキドエナメル、アクリルおよびポリウレタン樹脂系、また高耐候性の低VOC環境対応型フッ素樹脂系塗料など、国内外の主要航空会社、整備会社、防衛省、宇宙航空研究開発機構などで採用されています。
--------	--

■建築・構造物用塗料

●内外装材

NTサーモバランス	既存の窓ガラスに内面から塗布する透明タイプの赤外線・紫外線吸収塗料です。室内への熱の侵入を低減し、室内温度の上昇を抑制するため、省エネとともに快適な居住空間を実現します。
パラサーモ外壁用 水性パラサーモ外壁用	優れた遮熱効果により、室内温度の上昇を緩和する外壁用塗料。耐候性・防藻・防かび性に優れるとともに、光沢のある塗膜を形成し、美観を長期間保持します。
NTダンネツコート	優れた断熱性能を発揮する中空バルーンを配合した多機能弾性外断熱システム塗料で、断熱効果により快適な室内を実現します。
ハイブルーフ	常温で203%の高弾性、素地のヘアクラックを吸収し、コンクリート外壁の長期防水を実現します。
完璧（かんぺき）マルチ	450%の伸び率で、長期間の壁面防水効果を保つ、ソフトな外観のアクリル樹脂系の酸性雨対応型塗料。優れた耐候性と低汚染性を発揮します。
シルビアサーフ	既存塗膜に対し、強い接着力を有する外壁用下地調整材兼中塗材です。壁面改修時の工程を短縮でき、トップコートは水系・溶剤型など各種お選びいただけます。
シルビアセラティー シルビアセラティー遮熱	光触媒塗料と同等の超低汚染性と高耐候性、遮熱性をあわせもった、次世代型の外装用水性ハイブリッド無機塗料です。
シルビアNADシリコンおよび シルビア1液スーパーシリコン	旧塗膜を選ばずに塗装が可能で、耐候性に優れた美しい仕上がりが得られます。主に戸建住宅や集合住宅の外壁面に使用します。
シルビア	超耐候性、耐久性、密着性などの塗膜性能をいちだんと高めた建築外装用トップコートです。用途に合わせて低汚染タイプ（6品種）および水系・溶剤型など各種の製品があります。
アスベスト固着塗装工法 （固着シーラー）	外壁用石綿スレート材に含まれる有害なアスベストを専用の固着シーラーで固めることで、アスベストの飛散公害を防ぐとともに、石綿スレート材の強化と保護、美観を実現する工法です。

●塗り床材・舗装材

ユータックシリーズ	施工が容易で、美しく強くソフトなシームレス塗り床材・舗装材。ビル、学校、工場、倉庫、体育館などに広く採用され、また用途に応じ、厚膜タイプ、硬質、弾性タイプなど幅広くそろっています。
ユータック特殊機能タイプ	静電気帯電防止用や、油面用、濡潤面用、カラコン用下塗材などのほかに1～3時間で歩行可能な超速硬化型工法や食品工場・厨房床用抗菌塗り床材、型枠デザイン工法、さらに景観向上を目的とした舗装材などがあります。なお、吹付型超速硬化タイプのスプレーユータックもあります。
ユータックシリカ遮熱	水性タイプのコンクリート、アスコン面用カラー舗装材で、路面の温度上昇を抑制します。
NTキッチンガード	食品を取り扱う場所の床面に最適な塗り床材です。水性タイプのため臭気がほとんどなく、しかも熱水による塗膜のフクレ、ひび割れ、剥離の心配もありません。

●光触媒塗料

エヌティオPC、PA、G、R	光触媒効果で建築物を汚れやかび、藻類から護る光触媒外装用塗料です。
----------------	-----------------------------------

●スポーツ施設用塗料

プールエース	プールの美観・安全性を高め、保護するプール専用塗料。プール内面に限らず、プールサイド仕様もあります。
テニスコート用舗装材	パーフェクトコート、ファイバーソフトなど、下地クッション層からカラー仕上材まであり、理想的なコート材として㈱NIPPOで施工されます。

●下水道・農業集落排水施設用塗料

タフバリア防食被覆工法	耐酸性に優れた塗膜を形成し、下水道処理施設のコンクリート面を確実に保護します。なお、この工法は日本下水道事業団および㈱日本農業集落排水協会（現在の社地域資源循環技術センター）の防食指針に適合しています。
-------------	---

●上水道施設用塗料

ガードブルーフ	上水道施設の内壁保護を目的としたエポキシ樹脂系無溶剤型ライニング材。日本水道協会規格・JWWA K 135溶出試験に合格した塗膜は、高い安全性と優れた耐久性・耐水性を発揮します。
---------	---

●防水材

ブルーフロンシリーズ	施工が容易で、屋上、屋根などの防水に効果を発揮するウレタン塗膜防水材のブルーフロンバリュー。また、ブルーフロンQSIは、吹付型超速硬化タイプの防水材で、優れた防水効果を発揮します。さらに、容器回収・再生システムのブルーフロンエコや1液タイプ、水系タイプをはじめ、遮熱工法や環境対応工法などの各種工法をラインアップしています。
タフシール防水工法	軽量で強靱な塗膜をもち、耐食性、耐水性、耐候性に優れたFRP屋根用防水材です。なお、専用の防火工法もあります。
ノンリークコートシリーズ	シート防水材専用のトップコートとして開発した塗料で、ノンリークコートおよびノンリークコート遮熱があります。

●屋根用塗料および屋根材塗替システム

パラサーモ 水性パラサーモ パラサーモシリコン	太陽光線に対する抜群の反射率と熱放射率に優れた屋根用遮熱塗料です。塗装することで、屋根の裏面温度を15～20℃低減。室内の空調設備の省エネ効果に優れた性能を発揮します。
パラサーモシールド	自動車用防音材開発の技術と経験を応用した、優れた遮熱効果と防音機能をもつ屋根用塗料です。
塩ビ鋼板塗替え工法	特殊プライマーを下地に塗装することで、これまで困難とされてきた塩ビ鋼板屋根の塗り替えを実現した工法です。汚れにくく、長期間美観を保ちます。
NTスラリー瓦塗替え工法	特殊シーラーと専用施工方法の確立でスラリー瓦の塗り替えを実現。屋根瓦の美観と保護を長期間維持します。
ニュー水性ルーフシリコン 水性ルーフフッ素	高耐候性のシリコン樹脂系およびフッ素樹脂系を使用したカラーズレート塗替用塗料。優れた耐久性を発揮し、屋根の保護とともに美しい外観を長期にわたり保ちます。
リリーフシリーズ	波形スレート、新生瓦などの屋根材塗替システム。用途に応じた各種の工法で、屋根を美しく甞させます。
ニューリリーフトップ	カチオン系ラテックスとセメントの混合による特長を生かしたカチオン系フィラーの使用で、古く脆弱な瓦も強度アップ。葺き替えせず、施工可能な瓦の塗替用システムです。
スレコートシリーズ	屋根材から建築外装まで幅広く使用できるアクリル樹脂系を用いた溶剤型塗料です。
ビチューロンシルバー	防錆力・耐候性に優れ、主に長尺屋根に使用。アルミ粉などを特殊配合した鋼板屋根用の強力保護防食塗料で、抜群の防食性・耐候性を発揮します。

マッキンレー	耐候性・密着性に優れた銅板屋根用の厚膜カラー塗料。防食・防水・防音効果を発揮します。
ハウスガードW工法	防水・防錆・防音・断熱性に優れた高品質塗料と専用テープなどを使用した銅板屋根用のシステム工法です。下塗、中塗、上塗、専用テープにより長期間変わらない塗膜性能を維持し、屋根を確実に保護します。
山水(さんすい)	厚形スレートのライン塗装用。溶剤型塗料と同等の塗膜物性を発揮するアクリル樹脂系エマルジョン塗料です。
彩光(さいこう)	特殊な超耐候性樹脂を採用した高性能瓦用塗料。耐候性に優れ、深みのある色調で瓦を彩ります。
栄瓦(えいが)	厚形スレート用のシリコン樹脂系塗料。独特の反応硬化機能をもち、瓦に優雅な気品ある輝きを与えます。

●下地処理材・シーラント

NT浸透シーラー、NTカチオンタイトF、NTカチオンフィラー、ウルトラルーフプライマー、各種エポラプライマー、HP-U-1000、NTエポキシパテなどの各種製品があります。

■窯業建材用塗料

NTウォーレックス	窯業系の外装建材用(工業塗装)として、とくに開発した塗料です。水系(W)と溶剤型(S)の2タイプがあり、優れた耐候性、耐久性を発揮し、外壁を美しく保護します。
-----------	---

■金属用焼付塗料・その他の製品

アミロン#100・#300	冷蔵庫、洗濯機、スチール家具などの外面仕上げ用の金属用焼付塗料です。
その他の製品	エポラ(エポキシ樹脂系溶剤型塗料)、アルキロン(アルキド樹脂系塗料)、アクリバイル(アクリル樹脂系焼付塗料)などの各種製品があります。

■DIY用製品

一番(いちばん)シリーズ および各種家庭用塗料	ユニークな家庭用塗料として「一番シリーズ」および各種の水性塗料や溶剤型塗料、防水材、FRP商品、スプレーペイントなどをラインアップしています。丈夫な住まいづくりとリフレッシュにぜひご利用ください。
----------------------------	--

■各種防音材料(Mシリーズ)

イーディケルM-1000	繊維を樹脂で固めたフェルト状吸音材。立体形状化が可能で断熱性も良好です。家電向けの難燃タイプ、UL同等品、鉄道車両用材料燃焼性規格不燃合格品もあります。
イーディケルM-1500	M-1000、M-4000の組み合わせによる複合遮音材料。立体形状化も可能です。
イーディケルM-2000	変性アスファルトがベースの塗布型制振材。防錆力にも優れ、複雑な形状や部分などの制振処理や金属屋根の雨音対策に最適です。
イーディケルM-2500	エマルジョンタイプの塗布型制振材。乾燥塗膜は多孔質で、結露防止効果があります。
イーディケルM-3000	薄板金属製品で広く用いられる制振シート。加熱融着、または接着剤による現場貼り付けで使います。
イーディケルM-3500	使用しやすい感圧接着タイプの制振シート。UL同等品、鉄道車両用材料燃焼性規格不燃合格品もあります。
イーディケルM-4000	合成ゴムなど特殊合成樹脂がベースの軟質遮音シート。家電や機械、建築分野で広く使用されています。
イーディケルM-5000	アルミ拘束属付きのサンドイッチ型制振シート。軽量で自己粘着性をもち、広い温度域で高い制振効果を発揮します。

イーディケルM-6000 (NDCカルム)	アルミニウム焼結金属による吸音パネル。高温・高湿度での耐久性、耐候性に優れています。
イーディケルM-8000	焼成発泡させたセラミック系の人工軽量骨材をセメントでバインディングした軽量吸音板。優れた耐久性と吸音性を発揮します。 ※防火性能試験〔建設省（現国土交通省）告示1828号〕不燃合格品です。
イーディケルM-8500	焼成発泡させたセラミック系の人工軽量骨材とセメントミックス材を混合し、特殊な機械で吹付ける吹付型軽量吸音材。優れた施工性・耐久性および吸音性を発揮します。 ※防火性能試験〔建設省（現国土交通省）告示1828号〕不燃合格品です。

■各種防音材料（防音くんシリーズ）

防音くんシリーズ	自動車用防音技術を建築分野に展開したのが「防音くん」シリーズです。簡単な施工で騒音対策に大きく貢献します。用途に応じ「窓用」「室内吸音用」「流し台用」「床用」「排水管用」「鉄骨階段用」「天井吸音ボード用」「雨音対策用」の8種があります。
----------	--

■自動車用製品

●防音材

リエタ・ウルトラライト	「リエタ・ウルトラライト」は、新コンセプトのもとに音響機能を「遮音」から「吸音」に置き換えることで、音響性能の低下をまねくことなく30～60%という大幅な軽量化を実現した革新的な防音材です。エンジンルームから車室内、トランクルームまで車両トータルの防音システムの展開がはかれます。
各種自動車用吸・遮音材 (オートケルシリーズ)	ダッシュ、ルーフ、ミッション、フェンダーなどのパネル形状に立体成形された自動車用吸・遮音材です。フードインシュレーター、エンジンアンダーカバーインシュレーター、ダッシュアウターインシュレーター、ダッシュインシュレーター（ウレタンタイプ、フェルトタイプ）、フロアインシュレーター、吸音成形天井、フェンダーインシュレーター、トランスミッションインシュレーター、吸音ホイールハウスプロテクターなどの各種製品があります。
エンジントップカバー	エンジン上部に装着し、エンジンノイズを効果的に低減します。さらに、カバーは適切な形状設計を行なうことにより、高い防音性能を発揮します。
タカ・タカポール	タカは軽い多孔質の吸音マット。タカポールは、タカとセプタム（マスチックシート）を貼り合わせた吸・遮音材です。さらに、極細繊維を使用した高吸音性を有する熱硬化NCF、熱可塑NCFもあります。
ヒートシールド・ ヒートインシュレーター	エンジン周り、ターボチャージャーなどの近接排気管・触媒コンバーター上部などに装着し、吸・遮音特性も高める遮熱材です。
NTダンピングコートシリーズ 塗布型制振材	フロア、ダッシュ、オイルパン、ミッションカバーなどに使用される塗布型の制振材で、複雑な形状部や背面、垂直部も効率的に制振処理できます。水性タイプを主として、使用部位の環境温度に適した各種のグレードがあります。
メルシート	低比重タイプ 高制振タイプ 高比重タイプ 発泡タイプ 磁着タイプ 自動車の制振材で、主に車体のフロア部に使用。塗膜焼付炉の熱で融着、形状に沿った均一な厚みの制振層を形成します。
PAメルシート	感圧接着剤と組み合わせ、主にドア裏などの垂直面の金属板に用い、防音・制振効果を発揮します。
NTダンブシート	自己接着性と柔軟性をもつサンドイッチ型制振材。あらゆる部位・形状にワンタッチで貼着できます。A、K、P、E、BG、BP、BAのそれぞれのタイプがあります。
NTダンブプレックス	SMタイプ MRタイプ 高性能サンドイッチ型制振材で、拘束層として鋼板を用いたタイプ（SM）はダッシュ部に、樹脂を用いたタイプ（MR）はフロア用として使用されます。

●防錆材

NTガードコートシリーズ	水系 PVC系 ウレタン系	NTガードコートには、用途に応じ種々のタイプがあります。塩化ビニル樹脂系を主成分（PVC系）としたものと、SBRラテックスを主成分とした水系（W）タイプは、主として車のアンダーフロアやガソリンタンクに用いられる耐チップング防錆塗料です。Uタイプ（ウレタン系）は、砂礫による自動車外板のダメージを護り、錆の発生を防ぐ耐衝撃、耐摩耗性に優れた厚膜タイプのウレタン樹脂系防錆材です。
	アクリル系	アクリル系は、廃棄焼却時のダイオキシン・塩化水素ガス対策として、PVCを含有しない環境対応型の防錆材です。
ニットク・アンダーシール		車体下面、フェンダー、ガソリンタンクなどに使用され、防音、防錆、断熱、シーリングなどの機能をもっています。
NTデオックス ビチューメンワックス		優れた効果を示すワックス系の特殊車体防錆材です。

●鋼板補強材

NTスティフナー	電着塗装前（GRタイプ）、あるいは電着塗装後（APタイプ）にパネルに貼り付け、乾燥炉の熱により発泡・硬化する自動車用鋼板補強材です。
----------	--

●シーラント

シールトップ・成形シーラー	ボディーパネル、ルーフドリップ、ピラーなどの防水用シール材で、可撓性をもつ強靱な被膜を形成します。
---------------	---

株主の皆様へ

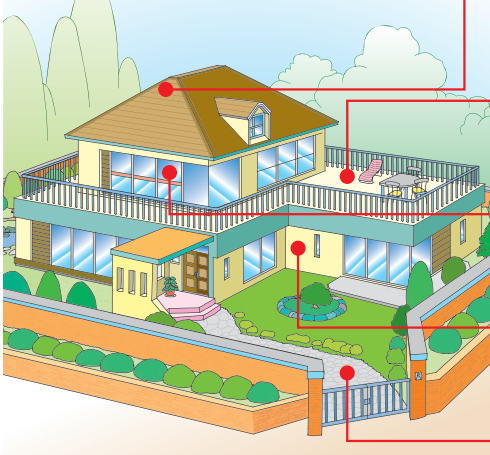
平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

このたびの東日本大震災により、被災されました皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。被災地の一日も早い復興を、心より祈念申し上げます。

今夏、全国的に節電が求められております現状を踏まえ、弊社の省エネ・遮熱塗料をご案内申し上げます。この省エネ・遮熱塗料は建物の屋根から外壁、ガラス面などへ塗装することで、室内の温度低減効果（節電）が期待でき、すでに全国各地で多数のご採用をいただいております。皆様方やご親戚、知人の方々の住宅に塗装いただきたい製品でございます。省エネ・遮熱塗料での改修工事がございますら、ぜひとも下記の弊社営業所までご連絡いただきますようお願い申し上げます。弊社の改修工事専門の担当者、特約の施工業者とともに最適な省エネ・遮熱塗料と改修工事のご提案をさせていただきます。

省エネ・遮熱塗料の施工場所はイラストのとおりでございます。住宅の省エネ（節電）と美観、資産維持のため、ご検討のほどをよろしくお願い申し上げます。

■省エネ・遮熱塗料での改修個所の例



屋根用省エネ・遮熱塗料

パラサーモシリーズ

屋根からの太陽熱の侵入を防ぎ、室内の温度上昇を抑える塗料です。

ベランダ・バルコニー用省エネ・遮熱塗料

プルーフロンGRTopp遮熱

ベランダ面などに当たる太陽光線を反射し、熱を放射する遮熱タイプの塗料です。

ガラス面用省エネ・遮熱塗料

NTサーモバランス

既存の窓ガラスに塗布し、赤外線、紫外線カットができる透明タイプの塗料です。

外壁用省エネ・遮熱塗料

水性パラサーモ外壁用・パラサーモ外壁用

外壁面からの熱の侵入を遮り、省エネルギーに貢献するとともに快適な居住空間を実現します。

通路用省エネ・遮熱舗装材

ユータックシリカ遮熱

太陽光や熱の蓄積を抑え、路面温度の上昇を減少し、ヒートアイランド現象を緩和する塗料です。

省エネ・遮熱塗料についてのお問い合わせ先

㊦ 日本特殊塗料株式会社

■本社 〒114-8584 東京都北区王子5-16-7 ☎(03)3913-6131 ●FAX(03)3913-6183

■塗料事業本部

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子5-16-7 ☎(03)3913-6203 ●FAX(03)3913-6323

平塚営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 ☎(0463)23-2135 ●FAX(0463)23-3739

名古屋営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12 ☎(0566)81-8111 ●FAX(0566)81-8124

大阪営業所 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-28-10 ☎(06)6386-8492 ●FAX(06)6338-3560

広島営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231 ●FAX(082)423-8256

福岡営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766 ●FAX(0942)89-5762

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

**株主名簿管理人
特別口座の管理機関** 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711（通話料無料）

上場証券取引所 東京証券取引所

公 告 の 方 法 電子公告により行う

公告掲載URL <http://www.nttoryo.co.jp/>

（ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。）

【お知らせ】

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



日本特殊塗料株式会社

〒114-8584 東京都北区王子5-16-7 ☎(03)3913-6131